

生産者からの依頼が大半

つくば

市民放射能
測定所が報告会

霞ヶ浦の汚染調査にも意欲

開設1周年を迎えたつくば市民放射能測定所が、つくば市妻木の同所で報告会を開催した。利用者ら約20人が参加した。

の利用者数は123人。2013年になってからは依頼数が減っている。

る県南以外でも、同1000〜10000ベクレルが出ている。

同所は、市民の手で食品などの放射能検査をしようとかんぱなどによって測定器を購入し2012年4月8日にスタート。今年4月

測定結果の分析について、共同代表の藤田康元さ

んは、データが少ないので統計的なことはまだ言えないとした上で、印象に残った点を報告した。検体のかなりの部分を占める土壌では、指定した土壌採取方法に従わない人もいるが、

タケノコでは12年では検体数13中1000ベクレル以上が3件、13年は件数11中ゼロになっている。今後は土壌汚染と作物との関係の経年変化を調べたり、霞ヶ浦の汚染調査を地元の団体と共同で行っていきたいと語った。

未までに482件の測定結果をホームページで公開している。県南の生産者による米や野菜の農産物、土壌の測定依頼が多い。1年間

写当たり1000〜5000ベクレルの土が多い。ホットスポットが多いと言われ

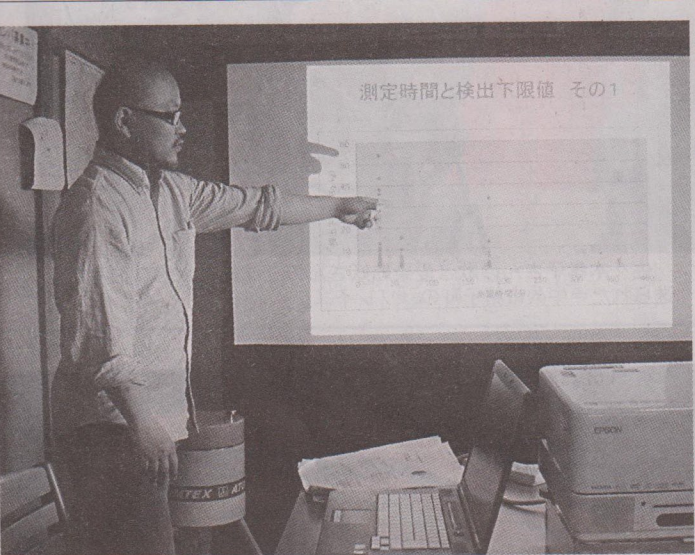
松岡尚孝共同代表は、3月に発表された国の検査のガイドラインと県の姿勢を説明。「やれることを続けてきちんと実態を明らかにしていく」と決意を示した。

測定器のしくみの説明や実演も行われたほか、横浜市中市民測定所を運営する人からの報告もあった。

つくば市民放射能測定所は、Eメール ibarakisokutei@gmail.com の測定依頼を受け付けている。

料金は、測定時間30分で500円、1時間で1000円、2時間で2000円。

(赤嶺谷子)



検出下限値について説明する藤田康元共同代表=つくば市妻木のつくば市民放射能測定所

事故

負傷者
0 61
2 1174
35 6793
58 7421